

献辞

森永春乃講師は、昭和20年に福岡県福岡市に生まれ、昭和42年に活水女子短期大学専攻科英文科を修了された後、長崎ユネスコ協会勤務を経て、平成3年に長崎大学経済学部留学生専門教育教官として採用され、平成23年3月31日をもって定年退職されました。

先生は、留学生専門教育教官として採用されたため、本学部では留学生を対象とした「経済日本語・日本事情」の科目を担当されてこられました。この科目は、経済・経営に関連する日本語での専門用語の教育とともに、日本語で読む・書く・聞く・話すと言う4つの技能の向上を目指す科目です。学会活動も、留学生教育との関連で、日本語教育学会や留学生教育学会でご活躍され、留学生教育学会では理事も務められました。組織運営面でも、本学部の留学生委員及び学生委員の他、全学的にも全学教育実施委員会の留学生用科目委員を長く務められました。

このように、先生は、本学部及び本学の留学生指導に大いにご尽力していただきました。その指導は、留学生に対する日本語教育だけではありません。入学時点での留学生に対するオリエンテーション、大学院生を含む留学生の日常生活における悩みの相談や助言、初めて日本に来る留学生の送迎など、本学部や本研究科の留学生が円滑に学び卒業できるように必要なことを行っていただきました。そのため、先生は留学生一人ひとりの顔と名前だけではなく、各留学生の個性もしっかりと把握しておられました。先生の退職後は、先生がこれまでされていた仕事を、ゼミ等で留学生を指導している各教員が分担するようになりました。これを通じて、改めて先生の仕事の重要さを痛感している教員も多いことと思います。

また、先生は、本学部から海外に留学する学生指導にも熱心でした。特に、本学部はタイのチェンマイ大学に、毎年、学部学生を派遣してい

ますが、派遣が決まった学生に対して、先生は、渡航手続きや現地での生活面での助言などの指導をされていました。このほか、中国その他の大学からの学生交流などでも、先生から有益なご支援をいただいたことも多々ありました。

このような留学生指導以外では、先生は、社会貢献の面で、長崎市ひとづくり事業検討委員会委員、長崎市市民活動との協働推進委員会委員を務められています。

普段は笑顔を絶やさない明るい先生ですが、留学生指導に関しては強い信念をお持ちでした。本学部と本研究科には、長期短期合わせて毎年約60名の留学生がいますが、先生の研究室を留学生が訪問しない日はなかったのではないかと思われるくらい、留学生に慕われていました。これまで本学部・本研究科に在籍した留学生全員が先生のお世話になったとすることができるでしょう。そして、先生の活動が本学部の国際交流を根本で支えていたとすることができるでしょう。森永先生のこの長年にわたる貢献に、教職員を代表して改めて感謝申し上げるとともに、今後のご健勝とご活躍を祈念して、献辞とさせていただきます。

平成23年 8月

長崎大学経済学会長

長崎大学経済学部長

岡 田 裕 正



森永春乃 講師